

欧州ブランド生産を強化

中高級婦人服生産グループ、マッコニーホールディングス（東京）の主力生産拠点、中国の蘇州マッコニーは、欧州アッパーライン・ブランド向けの生産を強化している。H&Mのアッパーブランド「COS」に続いて、同「アンドアサーストリー」向けのサンプル開発・本生産にも取り組みはじめたほか、「マックスマラ」についても14年春夏向けの一部でテスト的にサンプル生産を始めた。

日本、米国、欧州の先進国3市場向けで培ってきた生産力と提案力、サステナブルを欧州アッパーブランドが評価したものの、同社では欧州アッパ

蘇州マッコニー



COS向けに設けたサンプルセンターは企画のほか縫製ラインも設けている

ーブランドの合理的な物作りを紹介している。一昨年の仕組みが日本向けにも参考になるとしてこの事例を、製を蘇州マッコニーに委託されて

いる。昨年度からCOS専用のサンプルセンターが稼働し、半年で軌道に乗った。同社に依頼する本生産も拡大し、昨年のCOS向け生産実績は70万枚、蘇州マッコニー全体の50%を占めるとするまでになった。

COSの事例に刺激され欧州ブランドからの引き合いも増えている。今年度からは欧州ブランド向けサンプル生産体制を強化するほか、本生産についても能力を増強する。昨年八木通商との共同出資による新工場、蘇州八木マッコニーが稼働。12ラインの生産能力が加わった。一方、蘇州マッコニーは、3ラインを検査センター用に代えたこともあって18ラインに集約した。このライン集約分をカバ

「COS」に続いて H&M新ブランドも

サンプルセンターが軌道

一昨年の仕組みが日本向けにも参考になるとしてこの事例を、製を蘇州マッコニーに委託されて